

令和元年度 近畿ブロック中小企業組合士協会連絡会議 が開催されました

令和元年 11 月 14 日（木）、大阪府中小企業組合士協会の主催により「令和元年度近畿ブロック中小企業組合士協会連絡会議」が行われ、京都府・兵庫県・大阪府の各協会が参加しました。

第 1 部 視察

第 1 部では、複合施設「ミライザ大阪城」を視察しました。国内有数の歴史遺産である大阪城公園と公園施設は、平成 27 年 4 月より指定管理者制度のもと、民間 6 社からなる「大阪城パークマネジメント共同事業体」によって、世界的な観光拠点として事業運営されています。

ミライザ大阪城は、戦前に第四師団司令部として大阪城天守閣と同時期に建てられたもので、その後、長らく大阪市立博物館として親しまれてきましたが、パークマネジメント事業の導入により、ミライザ大阪城として平成 29 年 10 月に開業されました。

集合場所である森ノ宮駅からロードトレインに乗車して大阪城公園内を移動した後、平成 30 年 6 月にミライザ大阪城地下 1 階にオープンした「イリュージョンミュージアム」に入館しました。館内では世界各国のマジックやイリュージョンに関する歴史的資料やトリック装置の展示を見学した後、マジシャンのメイガス氏によるマジックショーを至近距離で鑑賞し、新しく生まれ変わった大阪城公園施設を楽しみました。



ミライザ大阪城 視察の様子

第2部 近畿ブロック連絡会議

定刻に至り、ミライザ大阪城 THE LANDMARK SQUARE OSAKA 会議室にて大阪府中小企業組合士協会・妻鳥理事の司会により、近畿ブロック連絡会議が開催されました。はじめに大阪府中小企業組合士協会の角会長より開会挨拶があり、引き続き来賓として全国中小企業組合士協会連合会の鈴木副会長より祝辞が述べられました。

会議は2部構成となり、議長には主催協会である大阪府中小企業組合士協会の角会長が選任され議題に入りました。前半の全体会合「各協会の活動報告」では、各府県協会の事務局から、各種セミナー並びに組合検定試験対策講座の開催などの活動内容、また、行事への参加者減少、組合士制度の知名度アップ等の課題について説明がありました。また、主催協会である大阪府より、自然災害が多発している昨今の状況を踏まえ、「組合士協会 One team」として近畿ブロック一丸となって全国と連携し、様々な方法で災害被災地を支援していくことの提案がありました。

後半の「グループ別情報交換」では、「組合事業」、「組合組織」の2つのテーマについて情報交換が行われました。「組合事業」をテーマとしたグループからは、人材確保を目的とした事業や、異業種組合における新たな事業の構築等について、また、「組合組織」のグループからは、組合員の減少問題、組合加入のメリット等についてそれぞれ発表がありました。



大阪府中小企業組合士協会 角会長による開会挨拶



全国中小企業組合士協会連合会 鈴木副会長による祝辞



グループ別情報交換の様子



グループ別発表の様子

第3部 懇親会

会場を宴会場に移し、大阪府中小企業組合士協会・南理事の司会により懇親会が開催されました。

開会にあたり、大阪府中小企業組合士協会の高田副会長による挨拶があり、引き続き来賓として大阪府中小企業団体中央会の谷山事務局次長より祝辞が述べられました。

懇親会には大阪府中小企業団体中央会の足立連携支援部長も臨席し、近畿府県の組合士相互が交流を深め、盛会のうちに終了しました。



大阪府中小企業団体中央会 谷山事務局次長による祝辞



大阪府中小企業組合士協会 高田副会長による開会挨拶